

👂 耳でも聞ける



議会だより

2024 No. 208

令和6年1月24日発行
岩手県紫波町議会

しわ



特集 / 町民と議会の意見交換会

わたしの話を聞いて!!

2

一般質問

8議員が町政を問う

8

シリーズ「議会の見える化」

議会だよりができるまで

18

令和5年度二十歳のつどい P20 に関連記事

紫波町議会報告会
町民と議会の意見交換会

換会を開催しました。

11/7・8 全 13 会場

を聞いて!!

179 件の声をいただきました。参加者総数 140 名
質問 76 意見要望 103議会
報告

- 町の令和 4 年度決算状況について
【予算決算常任委員会】
- 地球温暖化対策・鳥獣被害対策について
【いきいき町づくり常任委員会】
- 子育て環境の整備・学校給食センターについて
【すこやか町づくり常任委員会】

みなさんのご質問への回答を一部掲載します。

◆議会として鳥獣被害対策は？（前郷公民館）

答 いきいき町づくり常任委員会において、鳥獣被害対策の現状と今後の計画とジビエ利用について調査を進め、町に政策提言していきます。

◆議員の会派はいくつあるの？（西長岡中央公民館）

答 2 人以上で会派を組むことができ、現在は新政会 6 人・政策研究会紫波 6 人・日本共産党紫波町議団 2 人・無会派 4 人の構成で、各々が政策研究に励んでいます。

◆請願採択された道路が何十年も放置されているのはなぜ？（桜町北通公民館）

答 緊急性や利便性の観点から優先順位を決めて計画的に整備していますが、多額の費用を要するため、順次整備を続けていきます。

◆新しい給食センターの候補地や時期は？（桜田公民館・上町公民館・横沢公民館）

答 自転車競技場隣の雪捨て場にもなっている町有地、旧養鯉場（ヨウリジョウ）跡地が最有力候補地です。時期は令和 9 年度内の稼働開始を目指しています。

◆子育て環境についてどんな構想があるの？（中陣公民館）

答 すこやか町づくり常任委員会では、子育て環境の整備として「多世代が集える屋内空間」を調査研究しています。



お子様大歓迎！

議会報告会は、毎年開催しています。
託児室を用意した会場もあります。
気軽に参加してみませんか。

質問・意見への対応

- 各常任委員会に振り分け、それぞれ全議員で共有し、今後の活動に生かします。
- 回答を保留にした質問は、会場となった公民館長を通じて回答します。
- 詳細は議会ホームページに掲載します



議会だより



No.208 令和6年1月24日発行



町民と議会の意見交

議会報告会 10/29・30・

わたしの話

みなさんの関心度ベスト3

関心度 1 位

有害鳥獣について………

鳥獣被害の現状と今後の対策など



……24 件

関心度 2 位

議会・議員活動について…

議会改革・町政への提言監視・広報広聴の充実など



……23 件

関心度 3 位

町道維持整備について…

請願のその後・通学路・狭道・砂利道の整備など



……15 件

▼こちらの日程・会場で開催しました

※武田議長、根水副議長は各班を回りました。

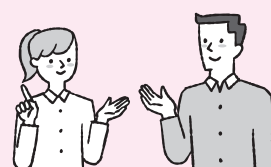
開催日	1 班	2 班	3 班	4 班
10月29日(日)	情報交流館 大スタジオ (託児あり)	古館 桜田公民館	古館 上町公民館	佐比内 佐比内八区公民館
10月30日(月)		古館 中陣公民館	古館 前郷公民館	佐比内 佐比内五区ふれあいセンター
11月7日(火)	赤石(桜町北通、桜町南通) 桜町北通公民館			志和 稲藤第一公民館
11月8日(水)	長岡 常川公民館	長岡 西長岡中央公民館	長岡 横沢公民館	志和 十二神公民館
議 員 班編成 (○は班長)	○細川 恵一 吉田 和希 橋浦 栄一 高橋 敬子	○藤原 恵子 村上みさと 北條 聡 阿部美佳子	○及川ひとみ 鈴木 博 浅沼 有朋 熊谷 育子	○細川 久 佐藤 光夫 阿部 秀一 佐々木純子



次ページ
当日のアンケート
結果と回答

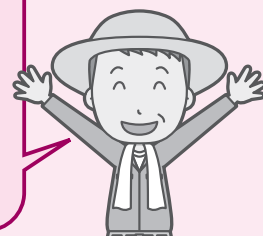
開催趣旨－議会活動や行政課題に対する取り組みの状況など、議会の説明責任を果たすとともに、町民の皆さんの意見や提言などと取りまとめ、町の発展と議会の活性化を図る。

主 催－自治公民館、紫波町議会



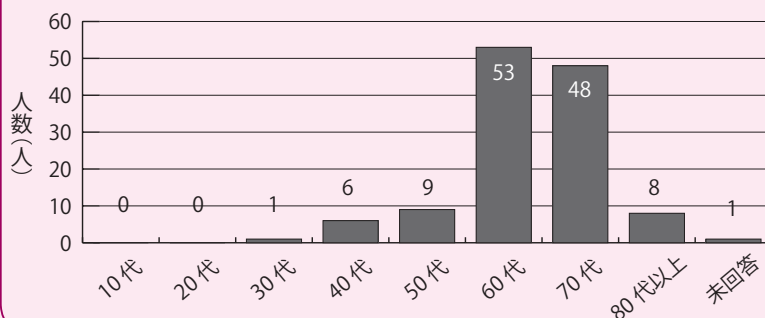
身近に感じた!!

分かりやすかった!



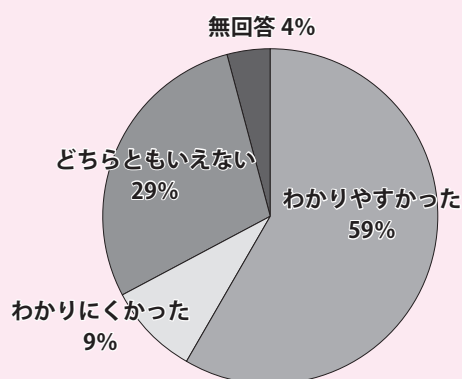
参加者アンケート

議会報告会参加者の内訳



参加者は、60代や70代の方が多かったです。
子育て世代を含む若年層からの参加者を増やすための対応が必要と捉えました。

議会報告会の内容についてどうでしたか？



わかりやすかった

- | | |
|---|-----|
| ・資料に基づく説明がなされていた。 | 60代 |
| ・議員の方が身近に感じた。 | 60代 |
| ・難しい言葉での説明でなくわかりやすい言葉で説明してよかった。 | 40代 |
| ・法律上の問題もありクリアしなければならない事があると思うが、住民の声を反映させようとする姿勢が感じられてとても良かった。 | 70代 |
| ・議会だよりを参考に説明いただき、わかりやすかった。 | 40代 |
| ・久しぶりに意見が多く出た。 | 70代 |
| ・具体的で、身近な問題を挙げてもらった。 | 70代 |



わかりにくかった

- | | |
|---|-----|
| ・レジュメを読み込むだけで、かみくだいた説明を聞いたかった。 | 60代 |
| ・具体的な事例を参考に、掘り下げが足りないと感じた。 | 60代 |
| ・何をしたではなく、何が問題で、どう課題としてとらえ、どう改善したいのかが見えてこない。生きにくい人の立場で考えてほしい。 | 60代 |
| ・決算報告だけで、具体的な事業等もっと詳細な説明がほしかった。 | 80代 |





議会から

お答えします

「議会運営に対する意見・要望」に回答します



- ◆ 議会ネット配信の映像は発言者のみだが、議場全体の様子が見える映像もあるといい。
また、画面に閲覧数も表示されるといい。

答 システム上、カメラと音声マイクが連動しているため、全体映像の場合は無音声となっています。そのため、質問中の全体映像の放送は困難な状況です。
また、閲覧数の表示についてもシステム上、画面への表示は難しい状況です。
今後、システム改修ができるか、可能性を検討します。

- ◆ 議員には、町の事業等の評価、監視をきちんとし、町民の役に立つ議員になってほしい。

答 全議員でご意見を共有し、各常任委員会でもこれまで以上に意識して事業評価を行います。

- ◆ 紫波町の施設、体育館、給食センター、旧小学校の利用や使用を議会はどのように見ているのか。
収支を押さえているのか。予算をしっかり監視してほしい。

答 議員個々がその意識を持ち一般質問や予算決算常任委員会に臨んでいます。
所管常任委員会においても課題として取り組んでいきます。

- ◆ 常任委員会など、改選前の議会報告会で聞いた方針や計画がまた繰り返されているように思える。
再編成されてゼロからスタートするのではなく、しっかり引き継いでやってほしい。

答 活動の申し送りを確実にし、新たな体制での取り組みに繋げていきます。

- ◆ 第三セクターについて、どんどん問題提起してほしい。改革は議員の責任でもある。

答 議員個々がその意識を持ちつつ、所管常任委員会においても課題として取り組んでいきます。

- ◆ 紫波町の魅力発信が弱いのではないかと。町と協力してやってほしい。

答 執行者（町）にも意見・要望として伝えるとともに、議員個々においても機会を捉え、町内外への魅力発信に努めます。

- ◆ このような報告だけでは意味がない。私たちには結果が重要である。

その場限りの質問を言うだけでなく、その後の追跡が必要。
議員は追及を続けて役場に行動を起こさせるような活動をして結果を見せてほしい。

- ◆ 議員の立場を使って個人の利益になるようなことを職員に強要している他自治体の例があった。
議員さんと呼ばれることで勘違いをするのではないかと。

職員は、議員に対し「〇〇議員さん」ではなく「〇〇さん」と名前を呼ぶようにしてほしい。

答 全議員でご意見を共有していきます。



議案
ピックアップ

くらし・物価高騰に 補正予算

- 議案第78号で2億9639万円を増額し、総額155億8311万円としました。

ピックアップ1

1463万円

- ・飲食店等の利用増加を図るプレミアム付きチケット
- ・中小企業者の経費も一部助成



えうご期待

【新型コロナウイルス感染症対応事業に係わる一般会計補正予算（第8号）
（電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金事業）】

問 プレミアム付きチケットはいつ頃利用可能か。

答 令和6年2月から販売し3月末まで利用可能。

問 中小企業者への一部助成とは。

答 全国商工会連合会が事務局となっている令和4年度補正予算小規模事業者持続化補助金に申請した小規模事業者に対し、補助金を交付するもの。

ピックアップ2

335万円

長い間ご苦労
さまでした



- ・防犯広報車（青色パトロールカー）を購入

【防犯対策費 防犯広報車購入】

地域の安全・安心のためパトロールを行っている自動車です。

問 現在の車両は、いつ頃購入したか、現在、どのような状態か。

答 平成25年に中古車を購入し、現在はスピードメーター不良、ドアの不具合により車検が取れず、走行不可能状態。

- 議案第85号で1億8534万円を増額し、総額157億6843万円としました。

ピックアップ3

国から
1億8468万5千円

- ・住民税非課税世帯へ1世帯あたり7万円給付へプラス3万円追加給付
- 【物価高騰対策重点支援事業に係わる一般会計補正予算（第9号）】

問 具体的給付対象者は、いつ頃給付予定をしているか。

答 令和5年12月1日を基準日とし、令和6年1月中に給付。



反対 討論



及川ひとみ 議員

議案第74号 紫波町公共施設等整備基金条例の一部を改正する条例

条例の題名を紫波町公共施設整備等とし、基金の管理について規定を改めるもの。

今回の変更は、管理の「元金が保証される」が削除され、運用の幅を広げることにつながる。損をするというデメリットはないのか。
この条例の変更は、運用が緩められると懸念される。

議案第75号 紫波町土地開発基金条例の一部を改正する条例

紫波町土地開発基金の管理に関する規定を改め、所要の整理をするもの。

この基金は具体的な運用が書かれていなかったため、明記しようとしている。町民の税金を町民のために有効に使うことから考えていただきたい。基金も町民のものであり、町民のために大切に活用すべきものとする。

賛否が分かれた議案	吉田和希	村上みさと	鈴木博	佐藤光夫	橋浦栄一	高橋敬子	浅沼有朋	北條聡	阿部秀一	佐々木純子	阿部美佳子	熊谷育子	細川久	及川ひとみ	細川恵一	藤原恵子	根水康博	武田平八	賛成	反対	結果
紫波町公共施設等整備基金条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	13	4	可決
紫波町土地開発基金条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	13	4	可決

※武田平八議員は、議長のため採決に加わっていません。

令和5年12月提出議案 … 16件

(報告2件、条例8件、予算6件)

- 報告12 紫波町空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の専決処分
- 報告13 古館駅前広場整備工事の変更請負契約の締結に関わる専決処分
- 議案72 議員報酬等に関する条例及び特別職の職員の給与に関する条例の一部改正する条例
- 議案73 一般職の職員の給与に関する条例及び任期付き職員の採用等に関する条例の一部改正する条例
- 議案74 紫波町公共施設等整備基金条例の一部を改正する条例
- 議案75 紫波町土地開発基金条例の一部を改正する条例
- 議案76 紫波町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 議案77 紫波町保育所条例の一部を改正する条例

- 議案78 令和5年度紫波町一般会計補正予算(第8号)
補正額 296,392千円
- 議案79 令和5年度紫波町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 補正額 29,988千円
- 議案80 令和5年紫波町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 補正額 △670千円
- 議案81 令和5年度紫波町介護保険事業特別会計補正予算(第3号) 補正額 14,386千円
- 議案82 令和5年度紫波町下水道事業会計補正予算(第2号)
収益的支出 △7,799千円
資本的支出 △35,207千円
- 議案83 紫波町手数料条例の一部を改正する条例
補正額 1,800千円
- 議案84 紫波町税条例の一部を改正する条例
- 議案85 令和5年度紫波町一般会計補正予算(第9号)
補正額 185,314千円

一般質問

8人の議員が町政を問う！

一般質問の動画はQRコードから
ご覧ください

令和5年9月22日に議会基本条例の一部改正を行いました。
 質問者は、一問一答と一括方式のどちらかを選べるようになりました。議員各々が論点や争点を明確にし、政策提言などに繋げていくために方式の選択を自由にしましたものです。



村上 みさと 議員
むらかみ

除雪・雪かき等冬の生活支援について
 経済的支援について
 男女共同参画の推進について
 公民連携について

P12



吉田 和希 議員
よしだ かずき

鳥獣害対策における町の方針について

P11



佐々木 純子 議員
ささき じゅんこ

市街地での鳥獣被害対策について
 赤石地区の子育て世代の増加について

P10



高橋 敬子 議員
たかはし けいこ

紫波町公共施設等総合管理計画について
 紫波町地域公共交通網形成計画について
 再生エネルギー導入の進捗について
 L G B T 近理解増進法の措置について

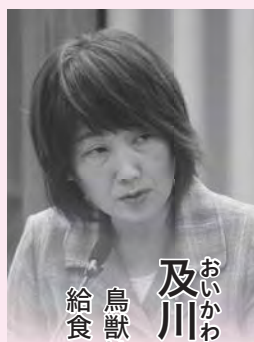
P9



藤原 恵子 議員
ふじわら けいこ

縁結び・結婚サポートについて
 防災・減災、国土強靱化対策について
 水田農業をめぐる情勢について

P16



及川 ひとみ 議員
おいかわ

鳥獣被害対策について
 給食について

P15



細川 恵一 議員
ほそかわ けいいち

国保問題について
 農業問題について

P14



細川 久 議員
ほそかわ ひさし

選挙結果伝達の迅速化と投票率向上
 対策について
 農地の適正管理について
 農業の地域計画について

P13

一般質問とは…

行財政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況、将来に対する方針などについて質し、あるいは報告や説明を求め又は質すことを言います。

- ・一問一答 案件に対する疑問点を一つずつ取り上げ、答弁を繰り返す
- ・一括方式 質問したい複数の項目を一括で取り上げる
- ・質問時間 一人 30 分以内とし、答弁は含まない





たかはし けいこ
高橋敬子 議員



みんなの足「しわまる号」

※ライドシェアとは？
登録したドライバーが車で移動する際に、ウェブなどでマッチングした希望者が相乗りできるサービスです。

公共交通機関

住民の意向を捉えよ

【答】ニーズを把握していきたい

問 バス交通空白地帯の解消やコミュニティバスの見直しなど、総合的な交通体系を検討するところがあるが、路線バス廃止などで免許返納に歯止めがかかっている状況。住民の意向をどのように考えているか。

町長 平成29年度に公共交通に関する意識調査を実施しており、不便な点として「駅まで遠いこと」、重要な点では「バス停まで行きやすいこと」が挙げられていた。すこやか号と比べしわまる号の利用者が増加しているため、利便性は向上していると捉える。

町長 矢巾町と連携などして、広域で運用することはできないのか。

町長 町内には駅、路線バスのバス停がある。

り、現在は町内での運用と考えている。ニーズを把握しながら場合によってはそれも視野に入れていきたい。

問 ※ライドシェアなど検討しているか。

町長 しわまる号で町全域をカバーしているため、ライドシェアの導入を急ぐことはないと考えているが、地域の状況を随時考慮していく。

申請状況は

【答】 随時、状況を伝える

脱炭素

問 みくまるつと脱炭素モデル事業の6月補正と9月補正で歳出の合計が1億3800万9000円である。

0万9000円である。

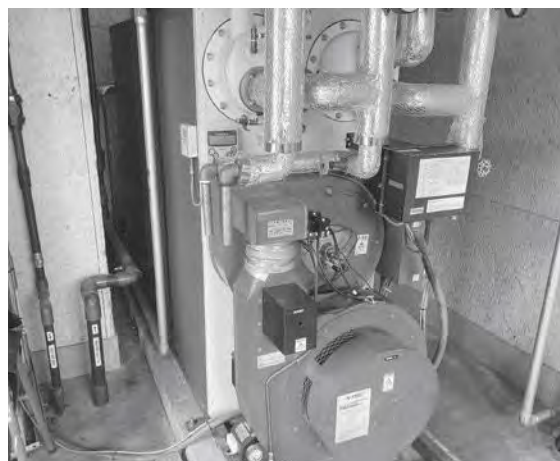
進捗はどうなっているか。

町長 手続きは59件となっており、ほとんどの案件が見積依頼中。

公共施設に関しては、ききょう荘の給湯設備の整備に関する契約を9月に締結。ラ・フランス温泉館への空調設備導入は、環境省と調整中。

問 9月補正での熱供給事業状況調査はどうなっているか。

町長 地域熱供給事業者の経営状況は令和6年2月末までに、設備の稼働状況は令和5年12月28日までに町に示される予定である。



ききょう荘の現ボイラー
長年お疲れさまでした



さ さ き じゅんこ
佐々木純子 議員



街に来ないで～

市街地の出没に対応すべき

鳥獣対策

答 人的被害を回避

問 小中学校付近でのクマの目撃情報に

対して対応は。

町長 スマートフォンア

プリの「紫波町防災&くらしのナビ」で知らせ、目撃された周辺地域には広報車で回って知らせている。

教育長 紫波第一中学校付

近でクマが目撃された時は、保護者同伴の登校、保護者への引き渡しによる下校、スクールバスなどの緊急活用を行った。

問 市街地に鳥獣が出

てきているが、予防や防護の対策は。

町長 城山公園周辺に出没するクマ対策に

ついて、専門家からアドバイスを受けている。

問 城山の調査状況は。また、麻酔銃を使えないのか。

産業部長 令和5年11月15日、クマの専門家から

「捕獲」と「囲う」というアドバイスを受けた。ただ「城山公園全体を囲う」というのは費用的な悩み、隙間からの侵入などが考えられる。麻酔銃は、警察の許可がないと撃てない。また、県内で扱える人は数名である。専門家からのアドバイスを基に、人身被害のないようにしていきたい。

人口増

赤石小学校の教室の整備は

答 令和6年度から整備開始

問 赤石小学校の教室不足の整備は。

教育長 推計では令和10年度に特別支援学級を含む学級数が最大を見込む。令和6年度、

7年度に設計・施工を実施し、8年4月に増築校舎の供用開始を予定。

問 校庭が狭くなるのではないか。

教育総務課長 配置計画を検討中だが、既存校舎西側の体育館前を考えている。校庭は狭くならない。

問 図書室などに影響はないのか。

教育総務課長 児童数の増加に伴い、図書室・特別図書室も検討している。

かなければならない。令和7年度は22学級になり、2教室不足が見込まれる。6年度に図書室内の一部コンピュータ室と音楽室の改修工事で普通教室化を図る。その後、増築校舎の改修に合わせて、今ある図書室のレイアウトを変更し、図書スペースの確保に努める。



ゆったり学べるスペースを!!



あらゆる対策をせよ

鳥獣対策

答 ICT技術も駆使して捕獲する

問 令和5年11月13日に北海道東北知事会により、クマを「指定管理鳥獣」として交付金の対象にすることなどの緊急要望が国に出された。町はどのように捉えているか。

町長 クマが指定管理鳥獣に指定されると、県が計画を策定することになる。町は県の計画を基に協議を行い、具体的な対応を取る予定。今後も国や県の情

報を収集し、これまでどおり有害鳥獣は可能な限り捕獲する。

問 ハンターを職員として雇用する考えはないか。

産業部長 仕事の特性上、職員としての通年雇用は現実的ではない。紫波町鳥獣被害防止計画にある「ICT技術等を使用した捕獲機材の整備」の進捗はどうなっているのか。

町長 既に活用している装備としては、携帯電話で遠隔地の状況を確認できるカメラがある。罠の状況や被害の多い圃場の観察を実施している。このほか、罠に二ホンジカなどが捕獲された際に、携帯電話に通知が届くシステムを試験的に運用している。今後も計画に基づき、ICT技術などの活用を図っていく。

町長 ICTではないが、資材としてクマ罠の数を7基から今年度中に18基に増やす。県への捕獲申請もほぼ即日に許可が出るようになった。今後も県の動向を踏まえて迅速に対応していく。

産業部長 ICTでは、山に入り、クマを減らす活動としてはどうか。また、積極的に山にフエンスを設置しては。また、積極的に山に入り、クマを減らす活動としてはどうか。

問 高額な費用が必要だが、山と人里の間にフエンスを設置しては。また、積極的に山に入り、クマを減らす活動としてはどうか。

産業部長 対策計画の意見交換会で山際にフェンスとの意見も出たが、防止事業費が膨大となり慎重に考えざるを得ない。積極的に頭数を減らすには春クマ猟を積極的に行うという意

町長 見もあるが、猟友会の活動に頼らざるを得ない現状である。

問 全国ニュースでも話題となった紫波町のクマの捕獲・駆除に関するクレームの状況は。

産業部長 電話は記録がないが数十件、メールが14件届いている。県内からの苦情はない。

※指定管理鳥獣とは？
集中的かつ広域的に管理を図る必要があるとして、環境大臣が定めた鳥獣のこと。都道府県または国が、捕獲などを実施できる。現在は二ホンジカとイノシシが指定されている。

ほとんどが関東圏からのものだった。あくまで有害鳥獣として捕獲・補殺することを伝えている。



やべっ (x) 見つかった



ICTカメラ
24 時間監視中



よしだ かずき
吉田和希 議員





むらかみ
村上みさと 議員



「吉水支え愛クラブ」
の活動

町がもっと直接支援せよ

除雪・雪かき

〔答〕 状況に応じて対応する

問

東部西部の人口減少、昼間人口率が低いなかで地域の支え合いが限界ではないか。当町において除雪支援の在り方は。

町長

地域によっては自治公民館と老人クラブが連携し、高齢者の除雪支援や安否確認を行っている。除雪ボランティア活動も増えつつあり、様々な活動の事例を周知しながら生活課題を解決する体制づくりに取り組む。妊産婦・小さい子供がいる家庭・高齢者・障がい者など、除雪等の生活支援サービスについて情報を町

生活部長

は把握しているか。

生活支援コーディネーターが各地の除雪ボランティアの情

報提供をしている他、シルバー人材センターが除雪作業をしている。また、重機対応できる除雪作業を請け負う業者も紹介している。

問

町が直接支援することをもちと考えるべきではないか。

町長

今は業者を町民に紹介で対応しているが、降雪が何日も続き、排雪が必要なら体制は組まなければならない。

問

グルージャ盛岡との連携協定、ノウハウプロジェクトなどについて「決まったことを報道で知る、よくわからない」と意見もあるが、町の公民連携の在り方、情報公開は。

町長

可能性調査の段階から市民参加条例に基づき検討委員会や地域での意見交換会により住民の意向把握に努め、基本計画や方針を策定し適切なタイミングで情報公開をしている。

問

検討委員会の委員に一般市民が含まれているのか。

企画総務部長

案件により、一般の方を公募と選任を都度使い分けている。

公民連携

明確な情報公開を

〔答〕 適切な時期に周知

問

グルージャ盛岡との連携協定は、環境整備や基本設計・資金調達のイメージについて合意し協定に至ったが、町がチェックできる仕組みはあるのか。

企画総務部長

チェックと言うより町といわてアスリートクラブ、そして利用者の目線で協議を重ねていく。

問

協定締結後の合意形成や知的財産保護の秘匿性は理解できるが、町民への情報公開の考えは。

企画総務部長

協議を重ね資金計画などの計画ができた段階で今回協定に至った。しかしプロジェクトは民間の場合には変わる可能性があることから適切なタイミングで情報の周知に努める。



クラブハウス予定地のメインスタンド





ほそかわ ひさし
細川 久 議員



こんなバスがあったらいいなあ

投票率向上

政治に関心を持つ機会増やせ

【答】主権者教育の充実に努める

問 期日前投票が充実していることから投票所の終了時間を午後6時にできないか。

選挙管理委員長 公職選挙法により、「午前7時から午後8時まで」と規定されている。法令の原則に従うことを基本としながら、有権者の意向を鑑み検討していく。

投票の呼びかけができないか。

選挙管理委員会書記長 送迎バスについてはどういう支援がいか検討していく。SNSの周知は可能だと思う。

問 主権者教育の充実で若い世代が政治に関心を持つ機会を増やせるのでは。

選挙管理委員長 平成28年の選挙権年齢18歳へ引き下げを契機に、高校生を中心に取り組まれている。当委員会でも選挙啓発の「出前授業」や「ポスターコンクール」「二十歳の集いのパネル展示」、投票時の「親子連れ投票」の周知を行っている。今後も主権者教育の充実に努めていく。

地域農業を持続可能にすべき

【答】10年後の農地利用明確化

農地の地域計画

問 「人・農地プラン」に代わる「地域計画策定」の進捗状況と取り組みは。

農業委員長 農業委員、農地最適化推進委員の役割は「意向アン



農地の未来を協議中

ケートの回収率を上げること」、「協議の場合へ住民参加を呼び掛けること」など、多岐にわたる。特に、「農地利用の意向を基に農地の集団化の範囲を落とし込んだ目標地図を作成すること」になる。農地の課題を抱える人や農業者の不安が取り除かれるような計画の策定を目指す。

問 地域で協議していく場に、兼業農家、非農家、認定農業者な

どに参加してもらえないか。
農政課長 旧町村単位で話し合いを検討している。広報活動には地域の農家組合長に声を掛けてもらい、10年後の農地をどのように利用していくか、幅広い人に考えてもらいたい。
※地域計画：「人・農地プラン」が、令和5年5月の農業経営基盤強化促進法の一部改正に伴い法定化された計画



ほそかわけいichi

細川恵一 議員

国保問題

国保税の軽減策を示せ

答 独自の判断では極めて困難

問

国の保険者努力支援制度による財政優遇強化方針にて国保税の上昇が予想される。国保税の軽減策を考えるべきでは。

町長

国民健康保険の税負担は国保財政の基盤である。すべての被保険者が支え合うことで成立していることもあり、町独自の判断で税負担を軽減することは極めて困難である。

問

令和5年6月の国民健康保険法改正は国保税滞納者への制裁を強化するものと捉えるが町の見解は。

町長

町では、現在、滞納世帯に「被保険者資格者証明書」の交付はしていないが、納税者の実情を捉えながら公平な税負担のため、国民健康保険税の滞納の解消に努める。



地域計画

策定に向けた課題は

答 多方面と協議していく

問

日本の食料自給率が38%に低迷している。食料自給率の目標を明確にしなければ紫波町も含め日本の農業は成り立たないと考えるが見解は。

町長

現在、国において「食料・農業・農村基本法」の見直しに

村基本法」の見直しを実施している。現在は38%の自給率を45%に高めることを目標としている。しかしながら、現状の農業においては、目的ごとのわかりやすい指標を求められており、基本法の見直しに

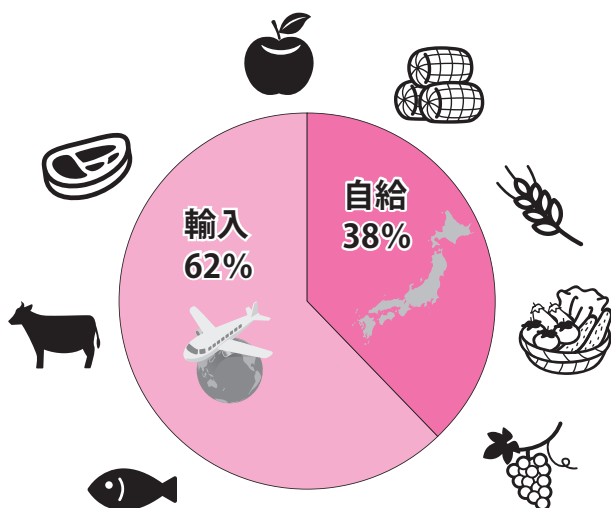
問

より、より明確な指標が示されてくるものと捉えている。

令和5年4月に施行された「改正農業経営基盤強化促進法」に基づき7年3月末までに「地域計画」の策定を求めているが、策定に当たる課題などはどのように捉えているか。

町長

耕作はしないが管理だけは継続する「自己保全管理農地」が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなる懸念される。地域計画の話し合いの場に多くの方が参加できるかが課題と捉えている。



これでいいのか!? 食糧自給率



おいかわ
及川ひとみ 議員



ニホンジカの埋設
「こんなに掘るの〜!？」

鳥獣対策

捕獲活動への支援を

答 拡充していく

問 鳥獣による農作物の被害が近年最悪の状況であり、農業を守る対策が必要。9月の一般質問で、「二ホンジカの埋設地、埋設にかかる労力を再度組み立て直す」と答弁していたが、その進捗は

議して紫波町鳥獣被害防止対策協議会への負担金を増額したい。

問 「鳥獣被害防止総合対策交付金の要望調査」に計画を出すことになるが、どのように考えているか。

産業部長 検討中だが、緩衝帯整備は補助対象に活用する予定。5年度は有識者のアドバイザー謝金のみだったが、草刈りの整備などにも

問 県が出すクマ捕獲の報奨金に関して、町の対応は。

産業部長 クマが保護動物であるため、補助金は猟友会に支給される。

捕獲頭数が減っているため岩手県としても検討していくものと考えてる。

安心、安全を厳守せよ

給食

答 しっかりと運営していく

問 物価高騰が続いている中、給食は値上げせずに提供している。品数や質を落とさず給食を作るための運営はどうなっているか。

教育長 各事業者と情報共有し、食材を安価に入手できるかを検討し選定している。

問 県産小麦のカビ毒の被害状況は。

給食センター所長 調査した結果、令和5年11月13日のせんべい汁に使用された可能性がある。調査中だが、今のところ被害の報告などはない。

問 新しく建てる給食センターについて、

PFIでの運営を検討しているが、町民の意見は反映されるか。

町長 ※エージェンツ型PFIを導入する予定。今年度は、基本方針書案に関するパブリックコメントの実施や、シンポジウムの開催などを通じて町民の意見を聴取し、基本方針の成案化を図ることとしております。



うんめえりんご
持ってきたじゃー

※エージェンツ型PFIとは？

詳細は町ホームページ掲載の成果報告書の78ページをご覧ください。





ふじわら けいこ

藤原恵子 議員

結婚サポート

希望する人に必要な情報を

【答】広く周知していく

問

近年、青年人口が減少している。親世代からは子の「結婚の心配」の声を聞く。結婚に関する相談センターは県内に数力所あるが、出会いの一助について町はどう捉えているか。

町長

町は出会い支援について、ポスター掲示やパンフレットの配置、町のホームページやSNS、町広報紙



iサポの情報はこちら→



問

への記事掲載、広告掲載などにより、広く情報発信している。若い人だけでなく親世代の目につく場所への資料配置、情報交換できる場が必要ではないか。

企画課長

若い人だけでなく、親世代が資料を手にとることも考えて広く配置すること、情報交換ができる場所についても考えていく。

水田農業

今後の戦略を問う

【答】国に要望していく

問

水田の畑地化、水田活用交付金の指摘事項、後継者不足など、水田農業を巡る情勢について町の見解は。

町長

「畑地化促進事業」は圃場に限定した交付金のため、土地所有者と耕作者の相互理解が必要で、条件によっては土地改良区との協議が必要である。町では説明会、資料配布、希望者には個別相談をしている。農林水産省は令和3年12月に、令和8年までに一度も水張りが行われていない農地は水田活用の直接支払交付金の対象水田としない方針を決定している。町としては国に対し、湛水設備を

問

今後の水田農業の経営戦略は。5年3月に紫波町農業振興地域整備

町長

整備している水田は水張りを実施していなくても認められるよう要望している。また、水張りをしていなくても水田の転換作物に対し、交付できる制度の新設も要望している。計画において、既存の生産基盤を維持しつつ、時代に合った農業を実現する農業経営体を構築していくことが重要としている。町としては、様々な交付金が活用できるよう制度に対する理解を深め、該当する制度がない場合には国に要望していく。



実状を見てける!!



追跡

あの質問はどうなっている？

～企業誘致～



子どもが進学などで町を出ていくと、就職先がないので戻って来ない。企業誘致やベッタウンの利点を出す施策を打ち出し、定住するための環境づくりを考えてほしい。

一般質問や予算決算常任委員会で取り上げてきました



平成25年 6 月会議

問 企業誘致のトップセールスについて、トップセールスを積極的に行い、雇用の場を確保することが重要と思うが取り組みは。

答 岩手県企業誘致推進委員会の「企業ネットワークいわて」や産業人会主催のセミナーなどに参加し、企業誘致に努めている。今後もトップセールスを積極的に行っていく。

平成26年 9 月会議

問 工業系用途地域は 20 年以上、企業誘致に進展がない。立地誘導の考えは。

答 企業誘致活動と併せて、工業系施設の立地誘導図っていききたい。

平成27年 3 月会議

問 企業誘致に向けて、工業団地整備計画の進捗状況は。

答 紫波インターチェンジ周辺地区における土地利用計画を策定中。

町の対応

現在、上平沢地区の工場適地の誘致が可能な土地については、県や盛岡広域市町と連携し、首都圏で開催する企業誘致イベントや個別の企業訪問などで PR を行っています。

南日詰地区農工団地については、企業誘致の促進のため道路の拡幅整備を進めており、企業の立地実現に向けて準備を進めています。

具体的な事業用地の要望があった際は、個別に相談に応じながら支援を行い、立地の促進を図っております。



議会のコメント

企業誘致に当たっては、関係課が連携を取り積極的に推進されたい。

令和4年度会計 決算審査附帯意見（令和5年9月会議）

シリーズ「議会の見える化」

議会だよりができるまで



議会だよりってどうやって作っているの？
業者さんが全部作っているんじゃないの？

なかなか見えにくい議会の活動を「見える化」するための特集シリーズ。
今回は「議会だより」を取り上げます！

① 編集会議



紙面の構成、担当を決めます!!

② 原稿準備・取材



町に出かけて取材してます!!

③ 初校→再校→再々校



話し合いはいつもヒートアップ!!

④ 出張校正→完成!!



最終チェックです!!



及川佳奈さん
(赤石地区)

身近な人が議員
になり、議会だ
よりを読むよう
になりました。
楽しみにしてい
ます!



広報研修会で勉強してます

町民と議会をつなぐ
パイプ役として
見やすい紙面作りを
めざします!!





議員が依頼に伺った際は
ご協力をお願いします。

聞かせて まちの声

町内の方々に寄稿していただきました

いつもこの場所から



ちば まや
千葉 茉耶さん
(野村胡堂・あらえび
す記念館 学芸員)

野村胡堂・あらえびす記念館に勤めて5年が経ちました。

勤め始めて間もなくコロナ禍に突入し、お客様の足が遠のいてしまいました。自粛ムードの中で、少しでも楽しさを求める方々が足を運んでくださいました。お客様に楽しんでいただこうと、感染対策や様々な事業に尽力してきました。彦部の丘の上から望む夕陽は、胡堂が幼少期に見たまま変わらず美しく、感動します。

来年は記念館が30周年を迎えます。私自身、日々この場所の魅力を感ぜながら、今日も楽しく仕事をしています。



あそびにきてね！

紫波町で一番 砂利道が多い集落



ささき ひさと
笹木 久人さん
(志和地区)

石田線からの枝道12本のうち10本が、穴だらけのデコボコの砂利道で、公民館に行く道すら舗装になっていないのが現状です。

他地区の方から、「今の時代こんなに砂利道の多い集落は、他に見たことがない」と、同様のことを2〜3人の方とも言われている状況です。中には、請願が採択されてから約30年経過しても舗装されない道もあります。

道路環境は、住みやすい町づくりの一つではないかと私は思っており、通学路でもある道路を少しでも砂利道の少ない環境で子どもたちが通学できることを切に願っております。



舗装待ってます

聞きたかった議場の声



ちば たみこ
千葉 民子さん
(日詰地区)

先日、用事があって役場に行きました。1階の総合受付前のテレビ画面ではちょうど、議会の様子が映されていました。どのような話が出ているのかと思い、近くに行きましたが、ほとんど声が聞きとれず、かなり近くに寄ってようやく聞こえる程度でした。せっかくリアルタイムで流れているのだから、役場に来ている方々にも聞こえるようにすれば、より議会が町民の皆さんに身近なものと思えてもらえるのではないかと思います。



ここでも見れます

年頭のご挨拶



紫波町議会
議長 武田 平八

この度、能登半島地震により犠牲になられた方々に対し、謹んで哀悼の誠を捧げますと共に甚大な被害を受けた皆さんに衷心よりお見舞いを申し上げます。

令和6年の新年が明けまして、皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。平素、皆様には、議会に對しまして特段のご理解とご協力を頂いております、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、議員改選の年であり、5人の新たな議員が誕生し、新鮮さも加わり、議会活動も積極的に行われ、順調な船出ができたと思っております。

しかし、少子化や人口減少など地方を取り巻く環境は厳しさを増し、中長期的な視点で山積する課題の解決に向けて、議会の役割と責任を果たしていかなければならないと気を強くしております。未来を担う子供たちに負担や課題を先送りすることは避けなければならず、現状を徹底的に分析すると共に、先々を見据えた視点で紫波町が持続的に発展していく為の議論を展開してまいります。

今年は、「甲辰^{きのえたつ}」であり、干支に相応しく、将来に夢と希望を持てる町づくりに向けて「変革・転機」の年にするべく、議会が「ワンチーム」となって、邁進したいと考えておりますので、引き続き、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、紫波町の限らない発展と町民の皆さんの益々のご健勝をお祈りし、ご挨拶といたします。

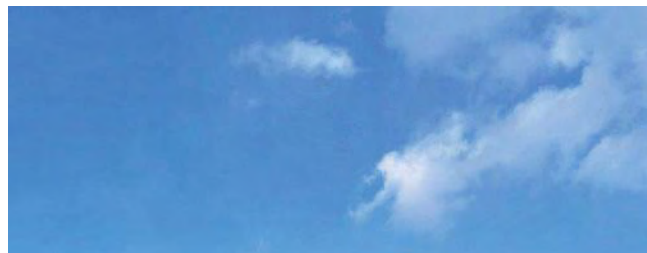


表紙の写真



雲外蒼天（うんがいそうてん）

～困難を乗り越えた先には明るい未来がある～



二十歳のみなさんの抱負を伺うことができ、今後の活躍に期待が膨らみました。

表紙上部の写真は紫波一中野球部OB。

ご家族から「県大会で3位を取った日のことを思い出しました。みんなの未来に良いことがあればいいですね。」と感慨深い言葉がありました。

『雲外蒼天』は町長が二十歳のみなさんに贈った言葉です。偶然、式典前に広がった青空に、今年の干支である『龍』のような雲が写りました。登り龍のごとく、自分の信念にまっすぐに!!

応援しています!



ペンをおいて

明けましておめでとうございます。夜に一人で原稿を書いていると、除雪車のチェーンの音が、さながらサンタクロースのトナカイがつけた鈴の音のように聞こえて、思わず笑みを浮かべてしまいます。

広報広聴委員会の改選からだいぶ議会だよりを作るのも慣れてきました。この「慣れ」といいます。

吉田 和希

発行・編集責任者

議長 武田 平八

広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 博

副委員長 佐々木純子

委員 吉田 和希

村上みさと

佐藤 光夫

橋浦 栄一

及川ひとみ



議会からお願い 議会だよりの取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



植物油インキを使用しています



議会だより No.208 令和6年1月24日発行